

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	歯科保健連絡会議運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 小畑照美
	基本事業	43	病気になるらない生活習慣の確立	所属班	健康推進班	(内線) 2166
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
	1	4	1	6	11228	成果優先度評価結果 12 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成10 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
【事業の内容】 生涯にわたって歯の健康を維持していくことにより健康な日常生活を過ごすことを目的に各機関が連絡調整・研修等を行い市が行う歯科保健事業を円滑に遂行するため、連携を図る。委員構成：歯科医師、養護教諭、菊池保健所、学校教育課、歯科衛生士) 【業務の流れ】 会議日程調整。委員委嘱状交付について起案。会議起案。通知発送。会議資料作成。会議実施。会議録作成。費用弁償の差し引き。年1～2回開催 【主な予算費目】 報酬、旅費、役務費						

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 会議日程調整。委員委嘱状交付について起案会議起案。通知発送。会議資料作成。会議実施。会議録作成。費用弁償の差し引き。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 会議日程調整。委員委嘱状交付について起案会議起案。通知発送。会議資料作成。会議実施。会議録作成。費用弁償の差し引き。H21年度から健診介助者である歯科衛生士を委員に追加。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市が行う歯科保健事業	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 会議開催回数 回 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑化に取り組むことができる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 歯科保健関連事務事業数 本 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 健全な生活習慣を身につける	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 目標に対して達成できなかった項目 件 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 栄養のバランスを考えて3度の食事を取っている市民の割合 % イ 病気の予防のためになんらかの運動をしている市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	71	44	43	36	51	51	
	(A) 事業費計	千円	71	44	43	36	51	51	51	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	430	430	430	392	392	392	392	
	(B)人件費計	千円	1,707	1,711	1,711	1,560	1,560	1,560	1,560	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,778	1,755	1,754	1,596	1,611	1,611	1,611	
	活動指標	ア 回 イ	2	1	1	1	1	1	1	
	対象指標	ア 本 イ	4	4	4	4	4	4	4	
	成果指標	ア 件 イ	0	0	0	0	0	0	0	
	上位成果指標	ア % イ %	86.1 42	89.7 43	86.4 46	86.8 39.9	86.7 48	87 50	87 50	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成10年度～:昭和62年合志町で、保健師や養護教諭、歯科医師で地域全体のデンタルIQを高めるためにまずは知識を統一しようと勉強会を始めた。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
義務教育期間中は学校保健法が中心となるので、切れ目なくフォローしていくことを目的に、学校教育課も参加している。歯科医師から現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのではと提案があり、H21年度より歯科衛生士を委員に追加する。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
「歯科保健の向上を図るためにも必要。」と菊池保健所から言われている。平成20年度歯科保健連絡会議開催時、歯科医師より「歯科医師から現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのでは」と意見あり。

事務事業名	歯科保健連絡会議運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「目的に沿った運営ができる」ことにより結果の「歯科保健の現状把握ができ、今後の課題を明確にすること」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 関係者の歯科保健の意識を高めていくことで、むし歯などを予防し医療費を削減することができるので妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象について、歯科保健連絡会議委員としていたが歯科保健事業とし、対象指標を歯科保健事務事業数が妥当と判断したため変更した。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 会議の場で十分な意見交換がされており、事業の実施が適切におこなわれているが、さらなる向上を目指し円滑な運営がおこなわれるよう考慮していく。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 情報を共有する機会もなく、歯科保健に対する意識の統一がとりにくくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似した事業はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最低限の事業費をあてているため。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の委員構成としている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 歯科保健事業の確認、検討を行うため、有効であるので公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①対象について、歯科保健連絡会議委員としていたが歯科保健事業とし、対象指標を歯科保健事務事業数が妥当と判断したため変更した。 ②有効性については、会議の場で十分な意見交換がされており、事業の実施が適切におこなわれているが、さらなる向上を目指し円滑な運営がおこなわれるよう考慮していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後も関係者での知識の共有をはかり、歯科保健の向上を目指す。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
前もっての資料の準備と提供を行い、会議の場での意見交換の時間を有効に使う。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )